

週 報

Rotary
東京本郷ロータリークラブ



2020-2021 年度 国際ロータリーテーマ 「ロータリーは機会の扉を開く」

東京本郷ロータリークラブテーマ 「Move forward」

創立／平成 3 年 3 月 13 日 (1991 年)

事務局／〒 102-0072 東京都千代田区飯田橋 1-9-6-905 電話：03-3238-5350 FAX：03-3238-5352

インターネットホームページ：<http://www.t-hongo-rc.gr.jp> E-mail：office@t-hongo-rc.gr.jp

例会：毎週水曜日 12 時 30 分 例会場：ホテルメトロポリタンエドモント 電話：03-3237-1111

〒 102-8130 東京都千代田区飯田橋 3-10-8

会長：松岡 浩 副会長：樺本健夫 会長エレクト：熊井 寛 幹事：篠崎陽一 会報委員長：林 一好

12 月 16 日 第 1367 回例会

2020 年 12 月 16 日発行 (No. 1313)

本日の卓話

「M&A 最新事例と最近の傾向」

(株)ストライク

代表取締役社長 荒井 邦彦 様

紹介者 小出 豊会員

次回の卓話 (12 月 23 日)

例会時間 12 : 30 ~ 14 : 00

「明日から使える！ ちょっと役立つワインのお話」

ワインソムリエ アカデミー・デュ・ヴァン講師

竹本 聡子 様

紹介者 山路敏之会員

12 月 9 日 第 1366 回例会報告

第 4 回クラブフォーラム

テーマ：今後の奉仕活動について

会長報告

1. 清水卓治会員が「第 18 回 米山功労者メジャートナー」となりました。

第 1 回被選理事会報告

次年度幹事 星野大記

2020 年 12 月 9 日午前 11 : 30 より第 1 回被選理事会を開催した。

1. 次年度理事会構成メンバーについて下記の通り承認決定された。

SAA 米倉伸三会員

副幹事 三浦謙吾会員

会計監査 田上睦深会員

2. 被選理事会日程は下記の通りとする。

2021 年 1 月 13 日、2 月 10 日、3 月 24 日、4 月 21 日、
5 月 19 日、6 月 9 日

開始時間は、原則 11 : 30 とする。

以上



「清水卓治会員
第 18 回 米山功労者メジャードナー表彰」

2. 12 月 7 日 (月) 田上睦深会員が RLI 卒後コースに出席されました。
RLI 講習会は、パート I ~ III を受講し卒後コースに進みます。1 日通しての会議となるため、時間調整にご苦労されたと思います。大変、お疲れ様でございました。

3. 繰り返しの連絡ですが、12月23日に予定していましたが夜間例会は、このところのコロナ感染者数増加により、昼例会へと変更いたしました。
 点鐘 12:30 終了は30分延長して14:00を予定しています。
 卓話には、ワインソムリエ 竹本聡子様をお招きします。
 出欠は事務局からの例会出欠確認メールでご返信をお願い致します。

幹事報告

- ロータリー囲碁同好会より、「第21回RI囲碁大会」のご案内 並びにマンスリーレターNo37が届いています。
 また、バキオ基金詳細の2019年度事業報告書が届きました。クラブ事務局に保管していますので、お問い合わせください。
- 本日のクラブフォーラムのテーマは「今後の奉仕活動について」となります。
 最長は14:00までとなります。
- 事務局の勤務時間についてお知らせします。
 コロナ感染者数が増加にあるため、12月9日～12月25日(金)まで勤務時間を短縮し、9:30～16:30とすることといたしました。
 1月以降については、状況を見て検討いたします。

出席

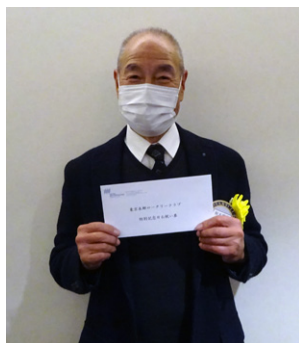
会員数: 50名 出席数: 26名 欠席数: 11名
 出席免除者数: 5名 特別措置出席免除者数: 8名
 出席率: 70.27%
 11月25日修正後出席率: 84.21%

ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY ROTARY

ニコニコBOX

* 秋本康彦会員

特別記念日のお祝い、ありがとうございます。



* 星野大記会員

本日は第一回被選理事会を欠席してしまいました次年度幹事の星野です。大変申し訳ございませんでした！来年は100%出席で頑張ります！

ニコニコBOX 6,000円
 累計 484,130円

「12月23日例会についてのお知らせ」

12月23日に予定しておりました夜間例会について、コロナウイルスの感染者数が増加傾向にあるため、夜間例会を中止し、お昼の例会に変更いたします。
 通常より30分延長し14:00終了予定となります。

記

日時 2020年12月23日(水)

~~18:30~~～ 中止



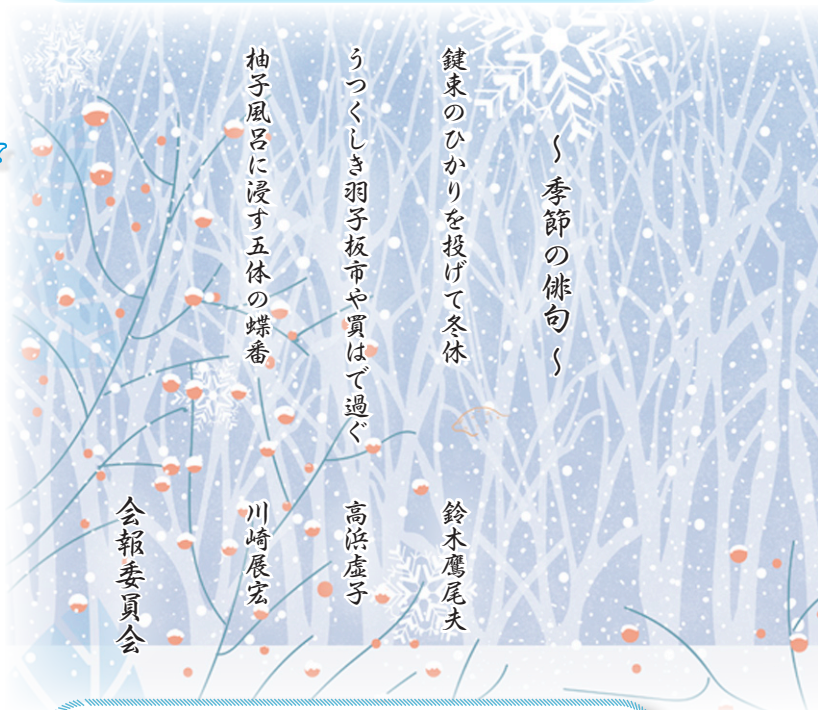
12:30～14:00 変更

※終了予定は14:00です。

以上

2021年1月6日 初例会 卓話者 藤舎呂英様に関するお知らせ

- 11月11日 観世能楽堂での演奏が下記URLにてご覧いただけます。
 始まって11分くらいからの「勸進帳」の鼓の演奏をされております。
<https://youtu.be/r8NqMW3DzVM>
- 来年1月1日 Eテレ「日本の芸能 新春スペシャル」に出演。
 歌舞伎役者 松本幸四郎様の演目「三番叟」で神田明神の社殿前にて収録をされました。



本日の例会にて、

ロータリー財団寄付 0名 0円
 米山特別寄付 1名 20,000円

のご寄付をいただきました。
 ありがとうございました。

第 4 回クラブフォーラムで出た意見のご紹介

第 4 回クラブフォーラムでのご出席ありがとうございました。

皆様のご意見を参考にさせて頂きながら、今後、創立 30 周年記念事業実行委員会では、3 月の記念式典で発表する奉仕活動について検討していきたいと思っています。

下記に皆様のご意見をご紹介します（敢えて原文のまま。一部読めないところあり）。



テーマ①「東京本郷ロータリークラブで今後やるべき奉仕活動」

- ・ 貧困家庭などへの支援。
- ・ 文京区を中心とした貧困母子家庭への「食」と「教育」の支援。
- ・ 青少年奉仕、社会的弱者の立場の青少年に対する支援。一人親家庭、不登校、親を頼れない、学校・社会になじめない。具体的には、地域内の職業応援、仕事紹介、住居提供又は賃料補助。
- ・ 次代を担う青少年の育成に力を入れるべきです。
- ・ 子供らしさの回復を支援、子供に子供らしい遊びを楽しい夢のあるお話を。
- ・ 学生、生徒に十分な食事、勉強できる時間を与えるようにする。
- ・ 日本の将来を考えると、若者の健全育成のためのプログラム作りが必要と思います。
- ・ 青少年に資する心の事業として、音楽祭はぜひ実現して頂きたいと思います。あくまでも長く継続する前提として。
- ・ 青少年が明日に希望が持てる社会の実現。
- ・ 恵まれない子供たちの支援（勉強がしたくてもできない）。
- ・ 中学生、高校生に対する奉仕活動を考えたい。長期的には心の支援となる奉仕活動を中心とする。地域に密着した奉仕活動とする。
- ・ 子供の笑顔、充足感、大人の姿をスポーツと職場で。
- ・ 以前地区で気づいたこと。LD のお子さんがいる家庭。親目線、子供目線、連携不足。
- ・ 文京地区のタイムリーなニーズは、過教育、不登校支援（23 区では一番多い）、親へのカウンセラー、アドバイス、フリースクール的なもの。
- ・ そのとき、そのときで地域のニーズは変化するので、継続的に地域のニーズをヒアリングして吸い上げることが大切だと思います。
- ・ 地域のニーズに合っている事業が大前提だと思います。
- ・ モノの支援にしても心の支援にしても支援を受け取る人が本当にありがたく思うことが大事だと思います。
- ・ 地元のニーズ（必ずしもデマンドではなく）に応じる活動。（社協インタビュー）文教地区故ドロップしてしまった人が声を上げにくい。
- ・ 文京区社会福祉協議会や文京区教育委員会とタイアップしてできる奉仕事業。
- ・ 文京区地元のタイムリーなニーズに対応する。80、50 問題の支援（80 を安心させ、50 に機会を与える）ex. 職場、バイト、ボランティア
- ・ 自分がこれまで経験してきたことを中高生に伝えて質問や不安を聞いて答える。
- ・ 一貫して、子供たちのための事業をしてきました。続けていければと思います。
- ・ 青少年奉仕、職場体験（中学校を対象に、地域の企業に依頼、今まで文京区教育委員会と共催している事業を主催する）。
- ・ 青少年育成の基本方針を維持してください（青少年交換留学生の受け入れ、地域の子供の育成問題、少年野球教室）。
- ・ 文京区を中心とした青少年に対するスポーツ等を通じて有益な体験をする場の提供。
- ・ そもそも「価値のない奉仕活動と言うものがある



のか」。「幸いは心より出て我を飾る」という箴言があるが心のこもった活動であれば良いのではないか。

- ・全員参加ができる奉仕活動が良いと思います。
- ・今は第一にコロナ支援。
- ・医療関係者（特にコロナ従事者）に対して、何かしてあげたい。
- ・ピアノの伴奏を東京音大の学生の方をお願いしています。青少年育成の一環として行っています。
- ・持続可能な社会になるよう CO² 削減など環境問題への取り組み



テーマ②「創立 30 周年記念式典(2011 年 3 月 10 日)で行う奉仕活動」

【文京区の貧困家庭、子供たちへの支援】

- ・文京区の貧困家庭の食事及び教育への支援として、文京区に現金で寄付をする。
- ・文京区の貧困母子（父子）家庭に、食材又は食事券などをお送りする。
- ・文京区を中心とする貧困家庭への支援として、寄付又は弁当を提供する。
- ・母子家庭、経済的弱者の子供たちの情報格差解消のため、PC や IPAD 等の寄付と Web 塾の開催をする。
- ・クリスマス（ケーキ）、正月（おせち）を味わえない家庭が文京区にもあり、お雛様、五月五日などのケーキをエドモントで作ってもらいプレゼントすると即効性あり。
- ・社会福祉協議会へ、ふるさと納税で生活物資を支援します。
- ・子供を支援する NPO 団体を、文京区を通じて選び必要な寄付をする。
- ・コロナで露見した学習現場の IT 化（タブレット PC や 3D プリンター、アシスタントテクノロジー）を支援する。
- ・文京区内の小中高校で何が不足しているかを調査して、品を決定するのが良いと思います。
- ・地元の子供たちに職場体験を。会員との触れ合いを中心に。
- ・青少年奉仕。社会的弱者に協力している団体に寄付をする。（文京区社会福祉協議会にサンカクシャ？）

- ・期間がない中でモノの支援を考えたい。地域に密着した奉仕活動として子供たちに対する支援を考える。
- ・大きなお菓子（生ケーキ・メッセージ入り）を区内の養護施設に届ける。
- ・学生のバイト等の減収により退学するものが多数居る。そのような学生支援。
- ・コロナで収入減の学生、教育の機会、バイト代の支援。貧困で教育を受けられない子供たちに対して支援する。
- ・学校に図書を寄贈する。
- ・満足に食べられない人に食事を。

【医療従事者への支援等】

- ・文京区医師会に対して、コロナのために闘っている医療従事者への支援として、金一封を寄付する。
- ・日本医師会を通じて、新型コロナウイルス感染症対策従事者慰労金交付事業等に寄付する。
- ・文京区の医療関係者に現金を寄付する。
- ・医療従事者にホテルのお食事や弁当を定期的にお届けする。
- ・コロナ治療で奮闘している文京区内の病院（都立駒込）などに感染防護服やサージカルマスクを寄付する。
- ・コロナが始まってから約 1 年。現場ではモノ不足になっているのだろうか。生産が追い付いて足りているのでは金銭寄付はどうか？例えば社会福祉協議会に。
- ・赤十字に献血をする。
- ・ロータリーディの献血ではないが、PCR 検査を 1 日無料提供するのはどうか。



【その他】

- ・今慌ててやることはない。より多くの会員の意見を聞き、時期を決めず 30 周年事業とする。

<コメント>

創立 30 周年事業としては、大きく分けると「文京区の貧困家庭、子供たちへの支援」と「医療従事者への支援」の 2 つの意見に集約されました。

以上